

令和3年度 事業経過報告

1. 総務部

- (1) 関係法令の研究及び諸規定の整備
本会会則・規則集の追録を発行した。新たな追録については、1段表記とした。
- (2) 苦情処理、紛議の調停及び事故処理に関する対応とその予防のための会員の指導
本年度は、苦情処理の案件が複数案件有り。
- (3) 日調連、中部ブロック協議会、法務局及び友好団体との連絡、協議
日調連等からの連絡文書を会員に向け発信した。
- (4) 事務局体制の充実
会員名簿の再調製、書籍の整理を行う等、事務局の執務環境を改善した。
- (5) 非調査士による登記申請の調査
法務局の囑託による非調査士の調査については、社会事業部にその実施を委託した。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、オンライン会議の円滑な運用を図った。
本会が策定した新型コロナウイルス感染症への対応方針に従い、感染症対策を徹底した。
また、新たな変異株に応じて、対応方針の見直しを行い、運用した。

2. 財務部

- (1) 監査会の開催
令和4年4月14日監査、令和3年10月28日 中間監査
- (2) 健康診断、予防接種への助成（助成額合計156,830円）。
 - ①健康診断への助成
一般検診、人間ドック受診者15名に対して、それぞれの支払額の50%（百円の位を四捨五入。一人当たり15,000円を上限。）を助成した（助成額113,000円）。
 - ②インフルエンザ予防接種への助成
22名に対して一人当たり上限2,000円として助成した（助成額43,830円）。
- (3) 業務関連図書の定期購入
登記研究及び登記情報の各図書を定期購入した。
- (4) 健全な財政の維持についての取り組み
理事会、部長会の場で、各部に対して予算を念頭においた執行をお願いすると共に、節約努力を要請した。また、次年度予算についても引き続き儉約に努めた内容で予算要求を行っていただいた上で取りまとめた。

3. 業務部

- (1) 業務部
 - ①日調連からの情報収集
 - ・業務取扱要領
 - ②中部ブロック業務担当者会議への参加、情報収集
 - ・変則型登記、狭あい道路問題、筆界特定、ADR、空き家対策関係（福井会では社会事業部が担当）
 - ③自治体との意見交換
 - ・令和3年10月19日、福井土木事務所管理課にて境界確認申請代理人として、土地家屋調査士の必要性について打合せを行った。
 - ・随時、資料収集及び空中写真収集について打合せを行った。
 - ④その他
 - ・業務部アンケートの実施
 - ・新人研修会への対応

- ・自治体所有の空中写真データの収集
 - ・福井県農林水産部森づくり課から立体画像表現図データを収集した。
- (2) 業務研究委員会
- ①基準点管理PT
- ・業務取扱要領の研修
令和3年9月10日、定例研修にて実施した。
 - ・使用報告書の管理
 - ・アンケートの精査、報告
- ②資料管理PT
- ・資料収集
 - ・保管資料の整理
新規公開資料については、本会メールにて報告済。
 - ・使用報告書の管理

4. 研修部

(1) 本会定例研修の企画・運営

- ①第1回 令和3年9月10日(金)
- 第一部「土地家屋調査士業務取扱要領について」
講師 日本土地家屋調査士連合会常任理事
前日本土地家屋調査士会連合会調測要領委員
福井県土地家屋調査士会 参与 山崎勇二先生
講師 福井県土地家屋調査士会 業務部
- 第二部「IT導入補助金の概要について」
講師 福井コンピュータ株式会社 岡倉武志様
「改訂 相談票についてのお願い」
講師 福井県土地家屋調査士会 ADRセンター長 錦織勝一先生
- ②第2回 令和3年11月17日(水)
- 「土地家屋調査士を取り巻く環境」
講師 日本土地家屋調査士会連合会 岡田潤一郎会長
- ③第3回 令和4年3月18日(金)
- 第一部「福井会近況報告並びに土地家屋調査士を取り巻く環境について」
講師：福井県土地家屋調査士会 岩坂昭宏会長
- 第二部「土地家屋調査士業務の近未来」
(民法等改正法&「法務省筆界調査の在り方」を中心として)
講師 福井県土地家屋調査士会 顧問弁護士 寶金敏明先生

(2) 本会新人研修の企画・運営

令和3年8月6日(金)：現場測量
8月26日(木)・8月27日(金)：模擬立会、ディスカッション、考察。
土地家屋調査士の倫理、職務上請求について。福井県における公図の特徴について。調査報告書の作成、解説。業務取扱要領について。報酬額について。業務に関する資料収集法についてなど。

(3) 他会との連携

他会の研修担当者との情報交換。

(4) 新人自主研修会の支援

- ①第1回 令和3年8月10日 午前
業務取扱要領についての確認とディスカッション。
- ②第2回 令和2年9月30日 午前
定例新人研修会を終えて研修内容、課題に対する再確認、考察。
- ③第3回 令和3年11月4日 午前

- 調査士業務に対するディスカッション等。
研修部からオブザーバーとして派遣等の支援を行った。
- (5) オンラインシステムの設営、運用
研修会で会員がオンライン受講するための準備、設営し経験を蓄積した。事務局と協力して会員のZOOM活用を推進した。
 - (6) 登録前研修への対応
研修希望者へ受け入れ先事務所の紹介を行った。
 - (7) CPDの運用と公開
自己申告カード、オンライン参加者の確認によるポイントの計上、ホームページによる公開。
 - (8) 過去の研修会に関する記録映像の活用方法についての検討
記録映像を一部確認し今後への活用方法を検討した。
 - (9) 年次研修の検討
実施した他会との情報交換を行った。年次研修を開催方法、内容を検討した。

5. 広報部

- (1) 「おたより」の発行
令和3年8月末 第177号発行
- (2) HPの更新
 - ①各部更新への取り組み
 - ②その他内容充実
- (3) 無料相談会の実施
 - ①令和3年7月31日 土地家屋調査士の日無料相談会6件（調査士会館にて）
 - ②令和3年10月2日 県下一斉相談会にて無料相談会24件（会場8か所）
- (4) その他の無料登記相談
毎月第3水曜日（合同会館内）年間25件
- (5) 宣伝広告
 - ①福井新聞にて無料相談会の広報記事掲載（7月、10月）
 - ②土地家屋調査士PRポスターデザインコンテストの開催の通知（8月）
 - ③福井新聞11月発刊のお仕事図鑑掲載に2名の取材（10月）
 - ④連合会作成の調査士マンガの配布（10月）3高校に45部配布
 - ⑤2月号連合会会報誌への寄稿（12月）
 - ⑥調査士ガイダンス（金沢）HPへ掲載、チラシの配布45か所（2月）
- (6) 関連業界との会合
 - ①令和3年7月2日 中部ブロック協議会広報担当者会議（WEB）

6. 社会事業部

- (1) 非調査士による登記申請の調査
 - ①法務局からの囑託により、非調査士による登記申請の調査を福井本局（令和3年11月30日・同年12月1日実施／調査員22名）、敦賀支局（令和3年11月26日実施／調査員3名）小浜支局（令和3年11月24日実施／調査員3名）の3局で実施。
 - ②（調査対象申請書類〔1〕令和3年2月1日～同年2月28日〔2〕令和3年4月1日～同年6月30日〔3〕令和3年8月1日～同月31日までの不動産の表示に関する登記の申請書類5か月分）
- (2) 筆界調査委員の推薦・任命
筆界調査委員23名のうち5名が、令和4年1月19日をもって任期満了となったため、当会より会員を推薦し、任命を受けた。

- (3) 筆界特定手続きにおける測量実施者の推薦
筆界特定手続きにおける測量実施者として、当会より会員25名を推薦した。
- (4) 表題部所有者不明土地の所有者等探索委員の探索状況
令和3年度、福井県下で探索土地として164筆が新たに選定された。
当会から任命されていた11名の所有者等探索委員のうち4名が、31筆の特定に関わった。
- (5) 表題部所有者不明土地の所有者等探索委員の推薦・任命
所有者等探索委員11名が、令和4年3月2日をもって任期満了となったため、当会より新たに35名の会員を推薦し、任命を受けた。
- (6) 空家等対策推進に関する活動
令和4年2月～3月に、空家等対策協議会に参画出来ていない12の自治体に、去年に引き続き土地家屋調査士の業務内容説明と参画の推薦依頼のため訪問を行った。
- (7) 業務受託者名簿登載者事務処理実施状況
業務受託者名簿登載者は令和3年度末現在で29名、今年度の業務依頼の実績が7件、全て業務完了。
- (8) 無料相談会等に使用する相談票等の改訂
無料相談事案からADRセンターへの誘導がスムーズに行えるよう改訂した相談票等について改定後の検証を行った。
- (9) 「境界紛争解決支援制度（ADR）」及び「筆界特定制度」の連携
令和4年2月～3月に、法務局と共作のリーフレットを県下全市町へ持参し設置を依頼した。
- (10) ADR運営委員会の開催
令和3年6月17日、令和3年12月17日、ADR運営委員会を開催した。

7. 境界鑑定委員会

- (1) 現在、境界鑑定委員会が取り組んでいる郡村取調規則等の文書の現代語訳化及び活字化の作業について、過去に公図研究委員会が同様の作業をおこなっており、その作成された文書が存在する事が判明した。今後は境界鑑定委員会を引き継ぐ方針とする。これに伴い、今年度の事業計画で予定していた作業を中止した。
- (2) 3月に土地台帳の読み方に関する研修会を計画して準備を進めていた。しかし、お願いをしていた担当講師の体調不良により急遽開催を中止した。

8. 公図研究委員会事業報告書

- (1) 戦災・震災復興土地区画整理における換地処分の調査・研究・資料収集
調査士会保管資料等を基に戦災・震災復興区画整理の工区境を白地図へ書き込み、戦災復興の範囲や特徴を研究した。今後、調査結果を本会ホームページに掲載する。
- (2) 福井県立歴史博物館の特別展への展示品提供
当会が保管している「中方儀」を特別展に貸出し展示した。
- (3) 中部地籍研究会への参加及び研究テーマの資料収集（中部六県）
本年度は新型コロナウイルスの影響で中部地籍研究会は開催されなかったが、今後のありかたについてweb会議を行い検討した。
- (4) 「土地台帳付属地図と地図に準ずる図面の実証的研究」の在庫が無くなったため、増刷を行った。